

樋の口浄水場等建設事業

物価変動に伴う契約額の増額変更と 進捗について



弘前市上下水道部工務課

① 事業の概要等について

1, 事業概要

施設の老朽化や耐震性能等の不足へ対応するため、コスト縮減と安定的な運転管理が可能となる「DBO方式」により事業を実施

事業内容【DBO方式】

設計業務（Design）、建設工事（Build）、運転管理（Operate）を民間事業者に一括して発注する方式

設計及び建設工事【DB】

樋の口浄水場（新設）：市の水道水の約5割を賄う基幹浄水場

岩木川取水ポンプ場（改修）：岩木川の水を取水し、樋の口浄水場へ送る施設

常盤坂送水ポンプ場（新設）：樋の口浄水場で作られた水道水を原ヶ平配水池へ送る施設

上記3施設の設計及び建設工事を実施し、地震、水害、停電などの災害に強く、安定して水道水を安全に供給できる施設を構築。

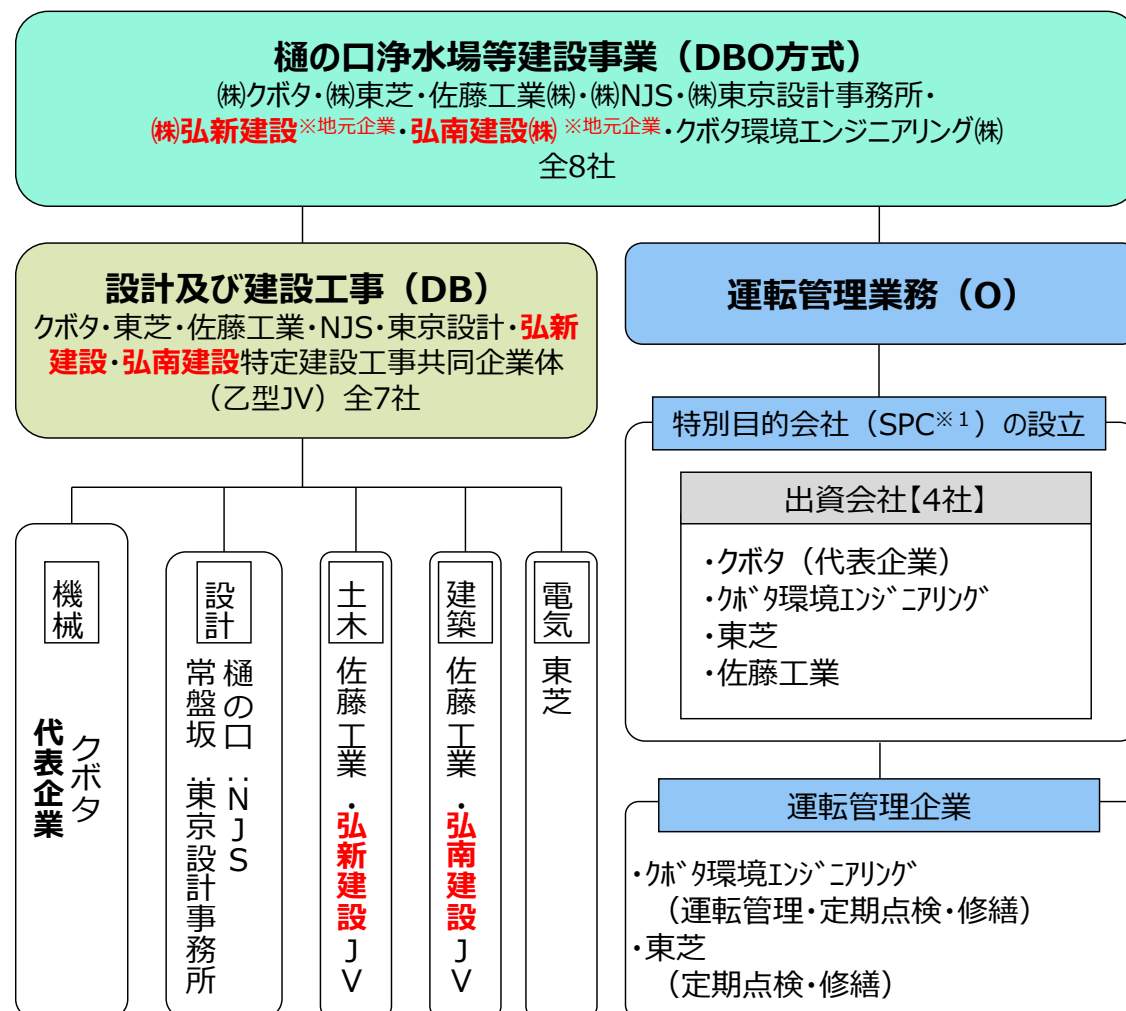
運転管理業務【O】

上記の3施設を含む、市内約90施設の運転管理（運転監視、点検、修繕）業務を実施し、効率的な運転管理業務を実施。

位置図



2, 契約内容及び体制



◆事業期間

設計及び建設工事

当初：令和2年4月1日～令和8年3月31日（6年間）

変更：〃 ～令和9年1月29日（約7年間）

運転管理業務

当初：令和8年4月1日～令和23年3月31日（15年間）

変更（予定）

：令和8年7月1日～令和23年6月30日（15年間）

◆契約金額（税込）

設計及び建設工事

当初 117億7,000万円

変更 127億5,351万円 (R5.3.16スライド変更)

変更 130億7,799万円 (R6.3.1スライド変更)

変更 131億7,105万円 (R7.3.6スライド変更)

運転管理業務 41億9,980万円 (R7年度中にスライド変更予定)

合計 173億7,085万円

※1 スペシャル パーパス カンパニー (Special Purpose Company) の略で、日本語では「特別目的会社」と呼ばれる。
ある特定の事業を行うために設立された会社のこと、出資会社本体の経営状況に左右されない、倒産隔離などのメリットがある。

② 現在の状況について

■ 物価変動による増額変更契約について

○ 約9千3百万円の増額変更契約を実施

- ・これまで令和4年度及び令和5年度において合計約13億円の増額変更契約を締結済。
- ・契約書第34条に基づき物価上昇による契約額の変更請求があったことから、公共工事で通常使用している単価等に基づき算定した結果、増額は妥当であると判断し、令和7年3月6日に変更契約を締結。

請求日	増額	増額後の契約額
令和4年10月	983,507,453円	12,753,507,453円
令和5年9月	324,475,470円	13,077,982,923円
令和6年4月	93,057,580円	13,171,040,503円
計	1,401,040,503円	－

■ 供用開始時期及び工期の延長について

① 供用開始時期を令和8年4月から7月へ変更（3ヶ月の遅れ）

- ・令和6年4月から適用された時間外労働の上限規制（罰則付き）により、これまで以上に労働時間が制限されたこと等により、作業員の確保がより難しくなったため、供用開始に必要となる建設工事は令和7年11月までに完了するものの、その後、機器類等が正常に機能するか等を確認する「試運転」が約7ヶ月間必要であるため、3ヶ月間の遅れが見込まれる。

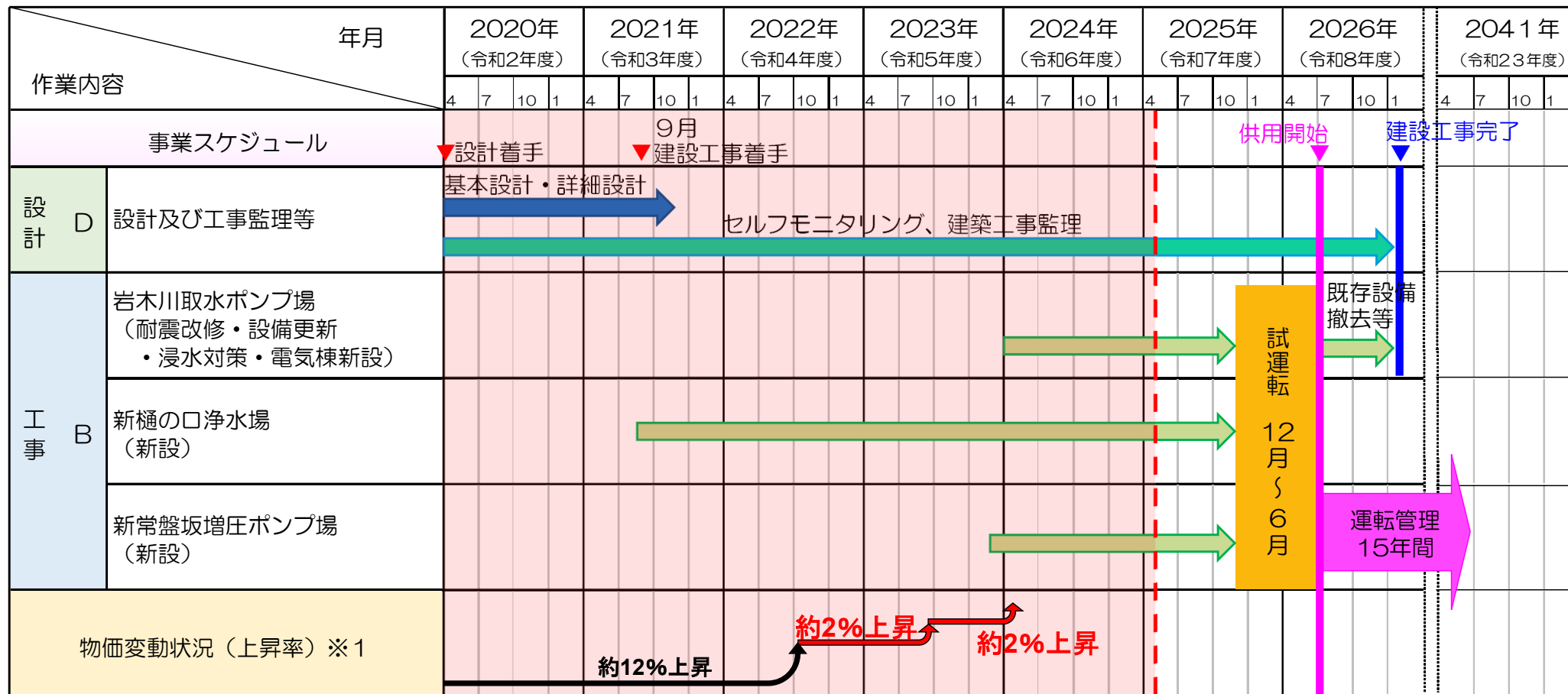
② 工事完了時期を令和8年3月31日から令和9年1月29日へ変更

- ・①に加え、供用開始後でなければ着手できない工事（既存施設の撤去等）があるため。

工期延長等による契約額の変更はなし。

③ 変更工程表

2025年4月末時点



R2.3.25契約

R4.10.3 スライド請求

R5.3.16変更契約(約9.9億増)

R5.9.1 スライド請求

R6.3.1変更契約(約3.2億増)

R6.4.15 スライド請求※2

R7.3.6変更契約(約9.3千万増)

現在

※1 上昇率の根拠

国土交通省が毎月公表している、建設工事にかかる費用の相場を示す指標である「建設工事費デフレーター」により算出。

※2 スライド請求とは

契約書第34条、物価の変動等に対応する請負工事額の変更(いわゆるスライド条項)に基づき、受注者より請負代金額の変更請求(スライド請求)を行うこと。

④ スライドの種類

※設計及び建設工事請負契約書第34条（賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更）

賃金水準又は物価水準の変動により請負代金額が不相当となったと認めたときは、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

項目		全体スライド	インフレスライド	単品スライド
適用対象工事		工期が12ヶ月を超える工事 但し、基準日以降、残工期が2ヶ月以上ある工事（ 比較的大規模な長期工事 ）	すべての工事 但し、基準日以降、残工期が2ヶ月以上ある工事（運用通達発出日時点で継続中の工事及び新規契約工事）	すべての工事 （運用通達発出日時点で継続中の工事及び新規契約工事）
請負額 変更 の方法	対象	請負契約締結の日から12ヶ月経過した基準日以降の残工工事量に対する資材、労務単価等	本通達に基づき、賃金水準の変更がなされた日以降の基準日以降の残工工事量に対する資材、労務単価等	部分払いを行った出来形部分を除く全ての資材（鋼材類、燃料油類等）
	受発注者の負担	残工事費の1.5%	残工事費の1.0% （29条「天災不可抗力条項」に準拠し、建設業者の経営上最小限度必要な利益まで損なわないよう定められた「1%」を採用。）	対象工事費の1.0% （但し、全体スライド又はインフレスライドと併用の場合、全体スライド又はインフレスライド適用期間における負担はなし）
	再スライド	可能（全体スライド又はインフレスライド適用後、12ヶ月経過後に適用可能）	可能（本通達に基づき、賃金水準の変更がなされる都度、適用可能）	なし（部分払いを行った出来形部分を除いた工期内全ての資材を対象に、精算変更契約後にスライド額を算出するため、再スライドの必要がない）

出典：インフレスライド条項運用マニュアル（国土交通省）

採用

当初117億7千万円 + 第1回スライド増額 約9.9億円 + 第2回スライド増額 約3.2億
+ 第3回スライド増額 約9.3千万円 = 変更請負額 約131億7千万円

⑤ 現在の状況（新樋の口浄水場）



現場状況写真 (新樋の口浄水場)



現場状況写真
(新樋の口浄水場)

浄水処理棟 内部



管理棟 全景



管理棟2階 中央監視室



導水管Φ600



(参考) 新樋の口浄水場完成予想図



※イメージ図のため実際とは異なる場合があります